

ご寄付 使途報告書 【2023 年度】

2023 年 4 月から 2024 年 3 月までにお寄せいただいた寄付金は、総額 192,336,143 円（302 件）でした。

ご寄付をいただいた皆さまに対し、心からお礼を申し上げます。

お寄せいただいた寄付金は、2022 年度までの積立金や本市の他財源と合わせて、以下の事業に使わせていただきました。

■ Arts Aid KYOTO

Arts Aid KYOTO は企業や個人の皆さまからいただいたご寄付のうち 70%をアーティスト等の活動へ補助金として交付し、30%を本市が行う文化芸術振興策へ活用する仕組みです。2023 年度は事業認定型・通常支援型合わせて 57 件の事業を支援しました。

※補助金交付額はいずれも 2024 年 8 月時点（決算確定前）の見込額です。

事業認定型 認定事業 <補助金交付額：114,098 千円> <支援件数：10 件>
長編ドキュメンタリー映画「お蚕さま セヴェンヌ」の製作・上映
「子どもにアートを！」と頑張る先生を支えたい—スクールファーストペンギンプロジェクト 2023—
NAKED GARDEN ONE KYOTO 2023
NEO KYOTO 50 UNDER 50（仮）～次世代の京都の雅を彩る 50 人～
Casie Art Hub KYOTO
京都の時代劇振興のための映画上映・殺陣・シンポジウムイベントと時代劇写真集出版
「歴史文化の記憶の地」の復活による文化芸術振興事業
京都未来芸術祭 New Year Concert 2024
京都周遊アコースティックフェス プレイイベント
京都市美術館開館 90 周年記念事業「村上隆 もののけ 京都」京都市内大学生以下無料化事業

通常支援型 採択事業 【創造支援枠】 <補助金交付額：5,750 千円> <支援件数：6 件>
Malibu / Ulla Japan Tour in 京都
アンサンブル九条山コンサート vol.14
ボードゲームと写真がつなぐ地域の過去・いま・未来～京都・東九条からの発信～
第二回京都文学レジデンシー
ドラマトウルク・ミーティング
Urban Play Festival 都市と遊びのフェスティバル

通常支援型 採択事業 【活動サポート枠】 <補助金交付額：3,932 千円> <支援件数：41 件>
文体を歩く 登山編
カッセル・ドクメンタ・トーク Kassel documenta Talk
すごセン相互質問会～全国行脚編～
上七軒にあるスペース「スタジオニューホープ」での二人展、北野白梅町にあるスペース「さんずい」での個展の連続開催
第 36 回初笑いおやこ狂言会
阿児つばさ個展アーカイブ
「視覚に障害のある人・ミーツ・アーティスト作品発表会」および「ぎゅぎゅっと対話鑑賞」の開催
映画制作ワークショップ
ナヴィッド・ヌール個展「モノ ノ アフレ ネス」の企画、準備、実施
絵日記 20 周年記念図録の出版
京都におけるマダン劇のリサーチとワークショップ
現代音楽ってなんなん？～レクチャー/セッション形式で聴く日本の現代音楽～
渡文のさろんコンサート Vol.4
川で交わる つないでゆくタカラモノ
京童えんげき祭 ミニ
東欧ユダヤ音楽ワークショップおよび東欧ユダヤ音楽クレスマー演奏会～シャガールが愛した、故郷の旋律～
戦後 78 年、マレーに抑留された人々の記憶—野田明が遺したスケッチから
京都から芸術文化の現在を発信し、アーカイブする批評誌『Jodo Journal』を刊行する。
舞台芸術を制作するアーティストに向けたリサーチワークショップ
neji&co. 『Out』 京都公演
2023 子ども狂言ワークショップ発表会
みんぞく芸能祭 オープンリサーチプログラム
絶えざる寛解
京都市立芸大移転歓迎東九条芸術祭
科学と音楽のワークショップ 市民とつくる電子工作・電子音楽
地域資源を循環させる製本ワークショップ
「喫茶文」という営みから創作の種を拾い集めるリサーチ
芦見谷芸術の森フェスティバル 2023
「当意即妙 芸術文化の抵抗戦略」展
0 歳児から楽しめる♪ムジカーリッシュ！コンサート 02
シアターマテリアル
アートコミュニティスペースにおける展示「汽水域」の記録冊子発行と対話型の振り返りトークイベント
KAKUHAN/MARK FELL/RIAN TREANOR
タイトル「箏と笛と声歌と」
崇仁すくすくセンター（挿し木プロジェクト） 2023 年度の活動と報告展
七円体/olololop/空間現代
『生まれてきたあなたは縦単線の先にいる』展示、朗読パフォーマンス&ワークショップ
戯曲ワークショップ「ことばにつむぐ」
Bambino! 0 歳からのパフォーマンスアート
高瀬川モニタリング部 2023 年度の活動
手話で学ぶアメリカン・ペアダンス

■京都市の文化芸術に関する事業・施策

お寄せいただいたご寄付の一部を、本市の他財源と合わせて以下の事業・施策に活用しました。

※決算額はいずれも2024年8月時点（決算確定前）の見込額です。

<h3>子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出</h3> <p>決算額：27,100千円</p> <p><2023年度実績> 参加者数：約4,900人 WS数：122回 公演数：2公演</p>  <p>京都の文化芸術を支え、継承と想像をしていく次世代の「担い手」「支え手」となる若者を育成することを目指し、感性豊かな子どもの頃から、質の高い文化芸術に直接触れる機会を創出。</p> <p><実施事業詳細></p> <ul style="list-style-type: none">・ようこそアーティスト（文化芸術授業）ワークショップ・ようこそ和の空間（伝統公演授業）公演鑑賞・KYOTO ART BOX for KIDS・Kyoto Music Caravan	<h3>若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり</h3> <p>決算額：23,150千円</p> <p><2023年度実績> 相談件数：184件 物件マッチング実現数：4件 制作スタジオ提供：6室</p>  <p>京都を拠点に活動する若手芸術家等（主に現代美術）を対象とし、芸術家たちの居住、継続的な制作や発表を支援するための各種事業を実施。</p> <p>相談窓口の開設、ウェブサイトの運営、居住支援（物件マッチング）、制作支援（民間スタジオ紹介、制作スタジオ提供）、発表支援、芸術家×仕事コーディネート事業、若手芸術家の新たな活動拠点の形成（HAPS HOUSE）等。</p>
<h3>アート市場活性化事業</h3> <p>決算額：9,324千円</p> <p>「文化芸術による少子化・人口減少対策」の一環として、アート市場活性化に向けた若手芸術家支援等を実施。</p> <p>「Art Rhizome KYOTO」 京都ゆかりのアートコーディネーターの企画・調整により、京都ゆかりの若手芸術家の作品を市内の宿泊施設等において展示・販売。</p>  <p><2023秋会期> 2023年10月1日～2024年1月30日 会場数：5会場 展示アーティスト数：14人 <2024春会期> 2024年3月22日～6月22日 会場数：8会場 展示アーティスト数：18人</p> <p>アート作品のオンライン販売「HAPS KYOTO」 オンライン販売サイトを活用し、京都で活躍/今後の発展が有望な若手芸術家や障害のある人の作品などを販売。 掲載作品数：115点</p>	<h3>京都市文化芸術総合相談窓口（通称：KACCO）</h3> <p>決算額：16,000千円</p> <p><2023年度実績> 相談件数：780件 相談会・講座等参加数：150人</p>  <p>京都芸術センター内に設置する相談窓口。 文化芸術活動全般に係るアドバイス、各種補助金の紹介に加え、契約書・著作権等の法律相談、メンタルケア、税務・確定申告の相談に至るまで、専門家・関係機関と連携しながら、文化芸術活動に必要な支援策の情報発信、各種相談に総合的に対応している。</p>

市民狂言会

決算額：1,600 千円

<2023 年度実績>

<来場者数>

2023 年

第 270 回 (6 月 16 日) **254** 人

第 271 回 (8 月 18 日) **222** 人

第 272 回 (12 月 8 日) **224** 人

2024 年

第 273 回 (3 月 8 日) **240** 人



京都市民をはじめとする様々な方に狂言を通じて京都の伝統芸能に触れていただく機会を設けるため、大蔵流茂山千五郎家・忠三郎家の協力のもと、昭和 32 年から開催している狂言会。日本古来の伝統芸能として完成された古典芸能「狂言」がもっている「能」とは異質の演劇的性格に着目し、「狂言」を楽しく鑑賞する機会を創出。年間 4 回 (6、8、12、3 月)、京都観世会館にて実施。

芸術家の移住・居住等推進モデル事業

決算額：8,400 千円

<2023 年度実績>

相談件数：**100** 件

2023 年度に、京都市文化芸術総合相談窓口 (KACCO) に専任相談員を新たに配置し、芸術家の移住・居住等に係る相談事業等に対応している。芸術家からの相談対応をはじめ、不動産事業者との連携による物件の掘り起こし・情報収集、市内に移住した文化芸術関係者等の情報 (インタビュー等) をホームページで発信、京都市外の芸術家へのプロモーションとして東京での移住相談会を行う等、芸術家の移住・居住等を推進した。

京都国際舞台芸術祭 (KYOTO EXPERIMENT)

決算額：22,479 千円

<2023 年度実績>

上演プログラム：**11** 作品

来場者数：延べ **34,514** 人

実施期間：2023 年 9 月 30 日～10 月 22 日

「京都文化の〈現在〉を世界に発信する、新たな文化資源としての国際フェスティバルを目指す」ことを基本理念とし、京都、日本、世界の先駆的・実験的な舞台芸術を紹介する舞台芸術祭。



2023 年度は、「まぜまぜ」をキーワードに、ロームシアター京都、京都芸術センターなどで、「上演」「リサーチ」「トーク」の三つのプログラムを実施。

京都国際映画祭

決算額：4,700 千円

<2023 年度実績>

視聴・来場者数：延べ **115,000** 人

(クリエイターズ・ファクトリーを含む)

会期：2023 年 10 月 13 日～15 日

京都が持つ映画・映像資源を活用しながら、「映画都市・京都」を世界に広く発信する「京都国際映画祭」。本市は若手支援事業「クリエイターズ・ファクトリー」を支援。2023 年度は、クリエイターズ・ファクトリー企画として、京都市京セラ美術館やヒューリックホール京都等でワークショップなどが実施された。